

# 6号機 主要な安全対策工事の進捗状況について

2024年12月26日  
東京電力ホールディングス株式会社  
柏崎刈羽原子力発電所



万が一の全交流電源喪失時にも重要機器の動力を確保

触媒の働きで、原子炉建屋に滞留した水素と酸素を水蒸気に変え、水素濃度の上昇を抑制

海水ポンプ点検用の開口部から、津波が建屋内に浸水することを防止

重大事故等が6、7号機で発生した場合、所員が参集し、事故収束に向けた指揮命令等を実施

重要設備が設置されている部屋に、設備の破損で漏えいした水等の流入を防止



炉心損傷が発生後、格納容器の圧力逃し操作を実施した際の、運転員の被ばくを低減させるための待避場所として使用



火山噴火による降灰時、非常用ディーゼル発電設備が火山灰で目詰まりしないよう、給気口にフィルタを設置



耐熱性の高い珪を設置し、熔融燃料によって、銅製の原子炉格納容器境界板が損傷することを防止



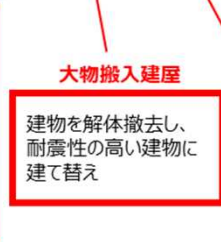
フィルタベント設備 (地上式)

万が一ベントを行う際でも、大量の放射性物質の放出を防止



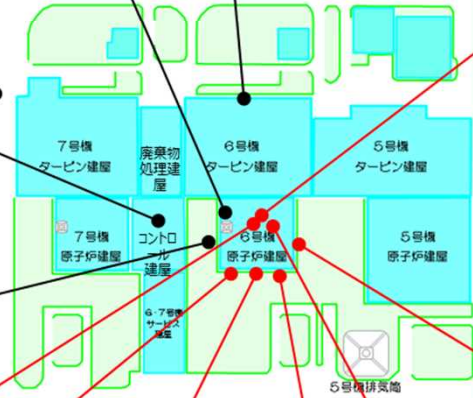
使用済燃料プールに注水するための外部接続口

重大事故発生時に外部から使用済燃料プールに注水ができるよう、消防車を接続

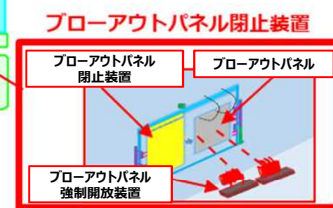


大物搬入建屋

建物を解体撤去し、耐震性の高い建屋に建て替え



耐震強化工事を実施



主蒸気管破断などによりブローアウトパネルが開放した際、原子炉建屋内の圧力減少後に速やかに開いた隙間を閉止



高圧代替注水系 (HPAC)

原子炉隔離時冷却系 (RCIC) のバックアップとして、原子炉へ注水



電巻防護ネット (複数箇所)

建屋の開口部に設置し、電巻により飛来した物の侵入を防止

- : 工事実施中
- : 工事実施済

※工事実施済であっても、使用前事業者検査実施後に機能維持のための保全作業等が生じる場合あり  
※工事については、使用前事業者検査を行い、原子力規制庁より使用前確認をもって完了

- ・貫通部対策 (火災防護・浸水防護)
- ・火災防護対策

※ 写真は一部7号機設備のものを使用